



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店
コード番号 8244 URL <http://www.d-kintetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高松 啓二
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 専務執行役員 (氏名) 福田 正男

TEL 06-6655-7030

四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	65,835	△0.3	837	14.1	755	43.7	528	137.5
28年2月期第1四半期	66,016	△9.6	733	△41.9	525	△34.9	222	△44.3

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 685百万円 (3.8%) 28年2月期第1四半期 660百万円 (65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	1.31	—
28年2月期第1四半期	0.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	135,163		28,767		21.3	
28年2月期	135,290		28,126		20.8	

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 28,767百万円 28年2月期 28,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—				
29年2月期(予想)		0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成29年2月期の期末配当予想は未定としております。

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	133,500	0.7	900	4.8	300	△46.9	200	△47.1	0.50
通期	273,000	0.8	3,300	7.0	1,900	△25.1	1,200	13.8	2.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期1Q	404,379,406 株	28年2月期	404,379,406 株
29年2月期1Q	593,407 株	28年2月期	591,313 株
29年2月期1Q	403,786,519 株	28年2月期1Q	403,789,963 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
平成28年度第1四半期 決算補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年3月1日～平成28年5月31日)のわが国経済は、中国経済をはじめとする海外経済の減速や個人消費の伸び悩みなどにより、不透明な状況のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましては、株価低迷や熊本地震の心理的影響などによる消費マインドの低下に加え、好調を維持していた訪日外国人の買物需要の停滞により、全国百貨店売上高は3月以降3ヵ月連続で前年実績を下回りました。

このような状況の下、当社グループでは、「中期経営計画(2015年度～2017年度)」に基づき、あべのハルカス近鉄本店における集客力強化や地域中核店の再構築に向けた諸施策を推し進めるなど、各事業にわたり収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末より、セグメントを従来の「百貨店業」「卸・小売業」「その他事業」の3セグメントから、「百貨店業」「卸・小売業」「内装業」「その他事業」の4セグメントに変更しております。このため、前年同期との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

①百貨店業

百貨店業におきましては、あべのハルカス近鉄本店では、一層の集客力強化を図るためウイング館3.5階に家電の大型専門店を導入するなど、各階においてショップの改廃を行いました。

また、地域中核店におきましては、周辺の大型ショッピングセンターとの差別化を一層鮮明にするため、奈良店においては、奈良県初出店となる生活雑貨の大型専門店「東急ハンズ」を5階にオープンしたほか、上本町店、橿原店、和歌山店及び四日市店においても、各階に新規ショップを導入するなど大規模改装を実施いたしました。

さらに、奈良店にオープンした東急ハンズをフランチャイズ方式で直接運営するなど、将来の収益源の確保に向けた取組みを積極的に推し進めました。

しかしながら、これらの諸施策を鋭意実施いたしましたものの、各店における大規模改装に伴う工事の影響により、お客様の買い回りに想定以上の支障が生じたこともあり、売上高は59,018百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は141百万円(同65.0%減)となりました。

②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売、株式会社シュテルン近鉄の輸入自動車販売が好調に推移いたしましたため、売上高は3,778百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は168百万円(同14.9%増)となりました。

③内装業

内装業におきましては、株式会社近創の大口工事の受注が増加し、売上高は2,330百万円(前年同期比82.8%増)、営業利益は587百万円(同275.4%増)となりました。

④その他事業

その他事業におきましては、近畿配送サービス株式会社の配送取扱件数の減少などにより、売上高は707百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は1百万円(同90.0%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は65,835百万円(前年同期比0.3%減)に止まりましたが、株式会社近創の粗利益率の改善などにより営業利益は837百万円(同14.1%増)、経常利益は755百万円(同43.7%増)となりました。これに工事負担金等受入額111百万円を特別利益に、固定資産除却損等267百万円及び厚生年金基金解散損失引当金繰入額18百万円を特別損失に計上し、法人税等を減じた親会社株主に帰属する四半期純利益は528百万円(同137.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が増加した一方で、現金及び預金、仕掛品の減少などにより、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し135,163百万円となりました。負債は、支払手形や買掛金が増加した一方で、借入金の返済により、前連結会計年度末に比べ767百万円減少し106,396百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ640百万円増加し28,767百万円となりました。この結果、自己資本比率は21.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年4月12日に公表した予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,925	2,979
受取手形及び売掛金	9,700	10,916
商品及び製品	9,448	9,391
仕掛品	944	567
原材料及び貯蔵品	30	33
その他	6,346	5,785
貸倒引当金	△30	△32
流動資産合計	30,365	29,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,073	51,140
土地	29,611	29,613
その他(純額)	3,527	3,798
有形固定資産合計	84,212	84,552
無形固定資産	1,538	1,505
投資その他の資産		
投資有価証券	4,174	4,318
敷金及び保証金	10,846	10,842
退職給付に係る資産	2,386	2,436
その他	2,361	2,465
貸倒引当金	△594	△596
投資その他の資産合計	19,173	19,465
固定資産合計	104,924	105,523
資産合計	135,290	135,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,981	22,902
短期借入金	16,551	16,445
未払法人税等	381	162
商品券	9,371	9,248
預り金	27,655	28,694
賞与引当金	88	105
商品券等引換損失引当金	5,824	5,774
資産除去債務	360	—
その他	5,544	5,591
流動負債合計	86,758	88,924
固定負債		
長期借入金	14,658	11,780
退職給付に係る負債	394	421
厚生年金基金解散損失引当金	147	166
資産除去債務	213	214
その他	4,991	4,888
固定負債合計	20,405	17,471
負債合計	107,163	106,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	8,990	8,990
利益剰余金	3,634	4,119
自己株式	△80	△80
株主資本合計	27,545	28,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409	552
退職給付に係る調整累計額	171	185
その他の包括利益累計額合計	581	738
純資産合計	28,126	28,767
負債純資産合計	135,290	135,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	66,016	65,835
売上原価	50,505	50,543
売上総利益	15,511	15,291
販売費及び一般管理費	14,777	14,454
営業利益	733	837
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1	2
未請求債務整理益	240	235
その他	117	133
営業外収益合計	361	372
営業外費用		
支払利息	80	64
商品券等引換損失引当金繰入額	259	271
その他	228	118
営業外費用合計	568	453
経常利益	525	755
特別利益		
工事負担金等受入額	—	111
親会社株式売却益	42	—
特別利益合計	42	111
特別損失		
固定資産除却損等	—	267
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	18
特別損失合計	—	286
税金等調整前四半期純利益	567	580
法人税、住民税及び事業税	131	115
法人税等調整額	191	△63
法人税等合計	322	51
四半期純利益	245	528
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	222	528

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	245	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329	143
繰延ヘッジ損益	△0	—
退職給付に係る調整額	86	13
その他の包括利益合計	415	156
四半期包括利益	660	685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637	685
非支配株主に係る四半期包括利益	22	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	59,018	3,778	2,330	707	65,835	—	65,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	708	1,237	633	2,623	△2,623	—
計	59,062	4,487	3,568	1,340	68,458	△2,623	65,835
セグメント利益	141	168	587	1	899	△62	837

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成28年度第1四半期 決算補足資料

個別決算関係

1. 個別決算の概要

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比
売上高	59,065	△ 2.5%
営業利益	168	△ 60.8%
経常利益	103	△ 51.1%
四半期純利益	99	25.6%

2. 店別売上高

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	24,753	△ 0.1%
上本町店	5,645	△ 4.7%
東大阪店	819	△ 3.1%
奈良店	5,868	△ 4.0%
橿原店	4,073	△ 4.3%
生駒店	2,260	△ 2.5%
和歌山店	5,159	△ 4.6%
草津店	2,844	△ 1.7%
四日市店	5,114	△ 5.1%
名古屋店 (近鉄パッセ)	2,525	△ 4.2%
合計	59,065	△ 2.5%

3. 商品別売上高

(単位：百万円)

		当第1四半期累計期間	
		金額	前年同期比
衣料品	紳士服・洋品	2,357	△ 7.5%
	婦人服・洋品	11,875	△ 5.1%
	子供服	1,109	△ 9.0%
	その他衣料品	2,828	1.7%
	計	18,171	△ 4.6%
身回品		5,982	△ 4.1%
家庭用品	家具	613	△ 9.4%
	家庭電器	27	△ 49.8%
	その他家庭用品	1,417	△ 6.8%
	計	2,057	△ 8.6%
食料品		18,357	△ 0.8%
食堂喫茶		1,223	△ 6.2%
雑貨	雑貨	6,565	△ 6.0%
	薬品化粧品	3,424	8.7%
	計	9,990	△ 1.4%
サービス		413	16.8%
その他		2,869	5.0%
合計		59,065	△ 2.5%